



四季の森

12月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

姿勢

校長 笹原 洋子

バス通りの街路樹が紅葉したと思ったら、あっという間に散ってしまいました。秋が駆け足で通り過ぎ、冬がやってきたようです。

朝、正門付近で登校してくる子どもたちを見ていると、寒くなるに従い、上着のポケットに手を入れ、背中を丸めて歩いている子が増えてきました。11月の四季の森小の保健目標は「よい姿勢で生活をしよう」でした。子どもたちも、よい姿勢の方がよいことは分かっていると思いますが、寒さに負けて、つい手をポケットに入れてしまうのでしょうか。

寒い日でも、手袋をしている子は手をポケットに入れていません。背筋が伸びて、前を向いて歩いています。そういう子は、『今日も1日、元気に学校生活を送れるだろうなあ。』と思えます。お子さんの姿勢が悪いと感じたら、手袋をご用意いただくのも一つの対策だと思います。



「姿勢」と調べると①からだの構え方。②心構え。態度。と書いてあります。11月の保健目標が示しているのは主に①の「からだの構え方」をさしています。当然、それは健康のために大事なのですが、子どもたちの健やかな成長のためには、②の意味の「心構え。態度。」を意味する「姿勢」も大事ではないかと思えます。

11月26日(火)に、4年生が音楽朝会で合唱を披露しました。子どもたちは自信があったのでしょうか。背筋の伸びたよい姿勢で、きりっと引き締まった表情で歌っていました。音楽の先生の話によると、「もっと上手に歌えるようになりたい。」と休み時間に音楽室に練習をしに来た子もいたそうです。そんな「姿勢」が聴いている人を感動させる美しい歌声になったのだと思います。

5年生は上白根小学校との親善球技大会に向けて、サッカー、バスケットボールの学習に取り組みました。体育の授業でも学習していますが、放課後、校庭や公園などでも練習していたそうです。そうやって自主的に練習しようとする「姿勢」が見られたのですから、多くを学ぶことができたのは言うまでもありません。

今、学校ではどのクラスも12月14日(土)の四季の森フェスティバルに向けて活動しています。子どもたちがどんな「姿勢」で取り組むかがとても重要だと思います。ぜひ、ご家庭でも、子どもたちに活動の様子を聞き、取組姿勢を話題にいただければ、子どもたちの「姿勢」はもっともっと前向きになるのではないかと思います。

四季の森フェスティバルは、地域の方も是非ご参観ください。皆様のご来校をお待ちしています。